

令和3年度 第3回 飛騨市公共交通会議

令和3年7月30日(金) 14:00
飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1・2

◎あいさつ(都竹会長)

今年度第3回ということで公共交通会議今日も集まりをいただきありがとうございます。

本日の協議事項では、神原峠線の実証実験から本格運行、小さな声にこたえる格好での山之村線のミーティングポイント追加、路線の系統番号の表示をこの後ご議論いただくことにしている。いつもこの公共交通は、市としても大きな予算を投じている大事な事業であるが、満足度を高めるということと予算を一定の中にしっかり納めていくということが難しい選択の中でできるだけ喜んでいただけるような、やり方を検討している、また今日も活発なご議論を賜りたい。我々は運行をバス会社、タクシー会社をお願いをするという形で運行しているが、コロナの影響が、タクシー、バス業界とも強く受けているということです。世の中的には、今ちょっとと感染爆発に近い状況に第5波なっているわけであるが、製造業とか小売業あたりは、実は意外と落ち込んでない。製造業はもう本当にむしろコロナ前よりいいくらいの業界もある。また、小売の業界もマインドの低下というものはあるが、実際には皆さんお金を持っていることもあって、何かのきっかけを作ると一気に動くというようなことが起こっている。しかし、どうしても観光など人流を作る業界においては、大変厳しい。飲食も同じように落ち込んでるため、例えば夜のタクシー需要もそれに伴ってなかなか厳しい状況になっているということで大変懸念をしている。市としていろんな手を打っているが、この状況が改善しないとその打った手がなかなか効率的に機能しないということに本当に悩まされており、予算を投じれば何とかかなという形になってないところが今回のコロナ対策の難しいところだというふうに思っている。

ただ、その中でも最近の例を挙げると、ワクチン接種があるが、飛騨市はもう間もなく、高齢者の接種が終わる。だいたい93%ぐらい。高齢者の希望された方がもうほぼすべて打ったという状況で、その中で今回タクシーとバスの運行費の支援というのを行った。片道1件でカウントしての数字であるが、先週まででタクシーが948件、バスが182件ということでご利用いただいている。特にタクシーは500円、ワンコインで利用でき差額は全部市が負担するという仕組みのため、古川から神岡まで使われる方もいるといった状況である。こうしたことも、市としてはかなりの出費を伴うものではあったが、タクシー、バスの業界の皆さんの少しでも助けになればということも含めて今回行わせていただいた。

あと安心バス旅の支援ということで、これも昨年の夏からずっと継続して行っているが、盛り上がってきたかと思うと感染が広がってしまうの繰り返しであるが、今年度も4月以降で46台、約200万円ということでご利用いただいている。まだまだわずかではあるが、状況の変化を期待しながら継続していきたい。

もう一つ、昨年の暮れから今年の春にかけてプレミアム食事券を発行したが、食タクチケットということで、タクシーも使えるというようなことで措置をした。食事も含め1億4700万円ほどの全体の市場規模をねらっており、ほぼ使われたわけではないが、一定タクシーの利用もあったというふうに伺っており、これも何かしら足しになったのならありがたいと思っている。

こうした対策を市として講じているのはやはり公共交通は失ってはいけない、とにかく維持をしっかりしてかないといけない。これは、特に高齢者の割合が多い飛騨市にあっては、高齢者の足を守るという大きな命題があるため、そういった意味での支援ということで取り組ませていただいている。ただなかなか思ったようにフルスロットがなかなかできないということで大変申し訳ないと思っているが、そうしたところも酌み取りいただきな

令和3年度 第3回 飛騨市公共交通会議

令和3年7月30日(金) 14:00
飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1・2

がら、気持ちとしては、大いに一生懸命取り組ませていただいているということでご理解いただきたいと思っている。

あとコロナワクチンでは、飛騨市はバス・タクシーの運行事業者の皆さんを優先接種の対象ということにさせていただいており、市内の事業者の皆さんには先に接種券をお送りし、予約を受け付けるという対策も行った。なるべく人と接する場面の多い皆さんには、優先して打っていただきたいが、ただワクチン不足でちょっと足踏みしており、また来週から本格的に受付を再開するが、今のペースでは、飛騨市はおそらく9月末か10月の第1週には全員二回打ち終わることができるのではないかなというように見通し。何とかスピード上げて少しでも安心な状況を作っていきたい。

いずれにしても、こうした状況下での公共交通会議であり、また今日の議題につきまして活発なご議論いただき、また気がついたことにつきまして、いろんご提言等賜りながら、充実を図って参りたい。

【議長指名】飛騨市区長会連絡等協議会 藤澤委員

報告事項

【報告事項すべてにおいて委員意見なし】

1. 令和2年度第3回公共交通会議の議事要旨等について
2. 令和3年度第1回及び第2回飛騨市公共交通会議の結果について
 - (1)令和2年度決算報告について
 - (2)令和3年度予算案について
 - (3) 令和4年度「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）生活交通確保維持改善計画」について
 - (4) 令和3年度 飛騨市公共交通会議スケジュールについて
 - (5) 「神原峠線」実証実験後の方針について
 - (6) 自家用有償旅客運送（福祉有償運送）の更新について
3. 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について
4. 飛騨市市営バスの実績について

協議事項

1. 令和3年度監査員の指名について

【委員意見なし】

2. 神原峠線の実証実験期間終了後の運行について

・(補足)資料では、運行車両の箇所にハイエース車両とあるが、予備車の都合や利用客の増加も期待してハイエース車両またはマイクロバス車両24人乗りとして、マイクロバス車両の使用もあるということ追加をお願いしたい。

令和3年度 第3回 飛騨市公共交通会議

令和3年7月30日(金) 14:00
飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1・2

【委員意見】

・運行の態様の部分で、変更前が路線定期運行で変更後が区域運行という形になっているが、路線定期運行から区域運行に変えるにあたり、今まで路線定期で走ってたところの路線については、今後区域運行に変わるにあたっての廃止なり休止の手続きを必要になるが、今運行している柏原線が、フィーダーの補助金を受けてる路線である。フィーダー補助の認定申請は路線定期運行で受けているため、すべて区域運行に変えると、補助金の計算方法等が全く変わってくる形になる。この部分については、すべて区域運行に変えるのか、一部路線定期にして、最後の古川町内の医療機関のところだけデマンドにするのか、その辺りも含め市、運行事業者と今後手続きの方はちょっとまた考えさせていただきたいのでご了承ください。

【事務局】 その案でお願いしたい。

・古川の病院デマンドする方は全体でどれくらいか。

【事務局】 まだその点については、把握できていないため今後報告させていただきたい。神原線の病院デマンドは、これまでの乗込調査やアンケート調査にて希望があったため、今回新たに組み入れたいものである。

・病院デマンドが区域運行にする理由と考えてよいか。

【事務局】 その通り。

・区域運行にすることで補助金が変わるということもあるが、停留所が法令上停留所でなくなるため、そういった意味では、駐停車禁止などを排除できなくなることもある。これは路線不定期運行のような気もするが、区域運行にしてしまうのも何でもできるけど際限がなくなるような気もする。また、太江線の件は、やはり似たような時間が多いため、このタイミングでやらないともったいないので是非やってもらいたい。太江線の利用人数はどうか。

【事務局】 減便により利用客は減っているが大きく減ってはいない。

3. 山之村線の路線見直しについて

【委員意見なし】

4. 路線系統番号の表示について

【委員意見】

・質問ではないが、要望させていただく。ごく稀に、観光客の方からバスのことこちらに問い合わせがある。そうした時に、ホームページ見ながら説明するが、公共交通という言葉で路線図が出てくるためわかりにくい。何とかそのホームページのたどり着き方について、観光サイトでも、アクセスできるような表記の仕方について今後相談させていただきたい。

【事務局】 事務局としても検討しながら対応する。

・(補足説明) ホームページの話が出たが、いろいろ混乱がみられた。例えば、せっかく地域公共交通計画が出たのに、検索すると前の計画しか出てこない、あと全体の路線図がな

令和3年度 第3回 飛騨市公共交通会議

令和3年7月30日(金) 14:00
飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1・2

いなどがあって、修正してもらったがやっぱりちょっとまだまだ見にくい。「おでかけひだし」っていうのを提案したが、他の市町村でもおでかけ〇〇ということをやってもらっていて、その名前でも何のことかわからないかもしれない。基本的には鉄道、バス、タクシー、或いは公共交通っていうので検索されるっていうことで、飛騨市の場合はそれ全体で「おでかけひだし」と言って、市営バスという言い方も堅いため、今回おでかけバスという提案させていただいて、さらにひだまるっていう、愛称あるためこれを使おうということ。飛騨市の皆さんにはそういうふう覚えていただいて、ひだまるが来たというふうに言ってもらったらいいなということで考えたため、定着すると思う。とりあえず飛騨市と高山市は、統一的につけたので重複もないし、全部一度に表すことができるため、検索とかでも出てくるような形にしてもらえると良いと思う。ホームページから何かいろいろ、考えるところがあるため私もフォローしながら、進めさせていただきたい。

【会長】ユーザーとして最近気が付いたことだが、先般、神岡町山田にできた障がい児の多機能型障害支援施設に見学に行くことがあって、バスで行こうと自分で調べたが、バス停の位置が全くわからず苦勞した。ユーザーの立場になるとこんなに使えないのかと痛感した。

いつも公共交通の議論する時に目的地は古川駅だったり古川の街の中だったり、神岡の街の中であったりして目的地が定まった議論をしてることに気づき、途中で目的地を設定した場合は全く歯が立たないんだってことを良く分かった。それで、バス停がわからないとどの路線を選んだらいいかわからない。先ほどの検索の話であるが、私自身が検索する際に公共交通って言葉は使わず、「飛騨市 バス」としかやはり検索しない。濃飛バスであろうが、飛騨市の市営バスであろうが使う人は全く関係ない。

ホームページのユーザービリティを市役所の中でも検討する時に、ホームページモニタリング的な人を選んで、自由課題を抽出してもらって直していくっていうちょっとプロセスをしっかりと考えたほうが良い。検討したいと思う。

・停留所の位置についてはやはり GTFIS 化をやっていかないといけないことだと思っている。それが飛騨市の場合は遅れており、できてないという状況である。早さでは岐阜県が平均より少し早いくらい。例えば三重県なんかは、この GTFIS というこの標準フォーマットにする場合、いろいろ支援するっていう仕組みがあって、ほとんどこの市営バス、町営バスでも全部 Google で、停留所の位置がばっちり出てくる。しかも、「〇〇停留所から〇〇停留所 バス」っていれると、次の時刻が経路とともに出てくる。飛騨市は、停留所だけのページはあるが、停留所のページは、地図が詳しくないので、どこかわからない。やはり Google に出るような、標準フォーマットに対応していかなければいけない。飛騨市バスって調べると飛騨市バス情報が出てくるが、欲しい情報が上から並んでいない。以前からもそうであるが、おそらくこれまでの事務局の方がそれぞれに応じて足しているため、やはり全体の設計がなっていない。

【事務局】多くの課題がある。予算確保が必要な部分もあるため、十分に検討して進めていきたい。

・GTFIS の取り組みについて話がありましたが、岐阜県の方で各市町村が、GTFIS の整備ができるように、定期的に研修会をやっているの、飛騨市は何回もご参加いただけている

令和3年度 第3回 飛騨市公共交通会議

令和3年7月30日(金) 14:00
飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1・2

が支援をしているのでよろしくお願ひしたい。

5. 飛騨市地域公共交通計画の一部改正について

【委員意見】

・計画の中に番号ついているが、系統番号としたらどうか。今の番号はおそらく、網形成計画の時から引き継いでいる番号かと思う。

【事務局】修正となると箇所が多いため、今後の会議で改正していく。ここを路線系統番号に変えるというようなことで考えていく。

6. 自家用有償旅客運送（福祉有償運送）の変更について

【委員意見】

・今まではこの待ち料金という項目はなかったということか。

【事務局】7月で更新をしたが、更新前の運行では設定されておりまして、この待ち時間というのが、抜けていたため、今回再度協議するものである。

・距離制と時間制とあるが、どちらが多いか。両方設定しているのは珍しい。

【事務局】ほとんどが通勤、老健への移送であるため、10分かかることがほとんどないため、ほぼ距離制である。

・待ち料金はどのように計算されるのか。

【事務局】例えば、高山市内の病院へ移送し、当然受診が終わってからまた帰ってくるわけだが、高山まで行ってまた神岡に帰ってきて、また迎えに行くことは非効率なため、その間を待ち時間として設定し、受診に30分、1時間かかった場合、その分を対価として、待ち時間対価としていただくという設定をしている。

・待機している時でも時間制と同じ5分160円とあるが、待機している時は走っている時と比べてガソリン代が安くなるため、根拠としては、少し安くなるのではないかと思える。待ち時間と分けずに単純に5分160円という対価にしまえばいいのでは。

【事務局】これは、過去の運行事業者のデータを基に初期設定しているため、それが基になったか考えている。また、渋滞などによって時間がかかってしまったり、走り方によっても異なることもあり、そういうことを想定している。また算定根拠について、今回の資料にはないが運輸局へ提出した書類に明記している。

その他

【その他事項すべてにおいて委員意見なし】

1. 古川～神岡の夜間運行について
2. 新型コロナウイルスワクチン予防接種者への移動支援について
3. 飛騨市第二種免許取得支援補助金について
4. 中部地区交通事業者の令和2年度の輸送実績について
5. バス停留所の安全性確保対策の進捗について